

ITインベントリ収集サービス



のご紹介

～今日をもっともっと良くなる～
株式会社km2y

2011/12/19

1. 代表略歴
2. 会社概要紹介
3. 「Service Wall」サービス概要
 1. Service Wallとは？
 2. 開発の背景
 3. まとめ
4. 機能紹介
 1. 収集可能なITインベントリ情報
 2. レポート機能
 3. チェックゲート機能
 4. その他機能
5. 制限事項
6. 他社製品との違い
7. パートナー様へのOEM事例
8. 参考価格
9. サービスアップデート情報入手先
10. 補足資料

1. 代表略歴

氏名: 蜂巢 悌史

生年月日: 1974年2月25日 (37歳)

【略歴】

1992年3月 横浜市立桜丘高等学校卒業

1996年3月 関東学院大学 工学部 建築学科卒業

1996年8月 株式会社三栄コーポレーションリミテッド(年商30億、従業員57名) 入社

設計室へ配属。飲食店の厨房設計を行う。CAD導入を推進し、フレッシュネスバーガー、牛角などの設備標準化を推進
企画開発室を発足と同時に兼務で配属。全社の販売管理システム構築プロジェクト参画。
社内の業務を洗い出し、稼働中のシステムとのギャップを抽出。新システムへの実装有無などを検討。
その後1ヶ月間の平行稼働を経て本番稼働まで行う。

2000年6月 株式会社大塚商会(年商4300億、従業員6500名) 入社

神奈川CAD販売課のSE主任として配属。建築チームのリーダーとして業務。
IT化が遅れている建築業界に対して、CAD活用を前提とした業務改善を100社あまりのお客様へ提案、導入、運用サポートを行う。

2002年8月 サイバーキッチン株式会社 起業(従業員8名)

常務取締役として、EC事業部、財務、総務を担当。

2004年6月 有限会社ビーハイブ 創業

代表取締役としてサイバーキッチンのEC事業部を引継ぎ業務再開。Web開発の請負業務を実施。

2005年8月 グローバルセンス株式会社(年商3億 従業員45名)入社

名刺ナビ事業部長として新規事業の立ち上げを担当。
システム開発から事業計画、マーケティング、プロモーション、サービス立ち上げの全領域に携わる。
(グローバルセンス倒産後、イーシステムが事業を引継ぎ「アルテマブルー」としてリリースされた。)

2005年12月 株式会社テクラス(年商4億 従業員30名)入社

営業チームのリーダーとして顧客に合った情報セキュリティシステムを提案・構築を担当。

2011年2月 **株式会社km2y 創業**

ArcSight社のTechnical Partner認定者となり、Service Partner契約を締結

【保有資格】

■一級建築士

■一級CAD利用技術者

■二級厨房設備士

■情報セキュリティスペシャリスト

■ArcSight Certified Technical Partner(日本人でパートナーでは唯一の取得者)

【その他】

■日本ネットワークセキュリティ協会会員(セキュリティ市場調査WGメンバー)



@hattitti



<http://www.facebook.com/yasushi.hachisu>

2. 会社概要

コンセプト→「ITをもっとシンプルに」

km
2y

- 商号 株式会社km2y
- 本店所 〒106-6016 東京都港区六本木一丁目6番1号泉ガーデンタワー16階
- 設立 2011年1月
- 代表者 代表取締役 蜂巢 悌史
- 資本金 200万円
- 社員数 3名
- 決算期 年1回 12月
- 免許番号 特13-31870
- 事業内容
 - ITコンサルティング事業
企業情報システムの情報戦略立案からRFP策定、要件定義、システム開発、システム運用保守に関するコンサルティングサービス
 - ITアーキテクト事業
経営戦略、ビジネス活動、セキュリティ改善等の様々な経営課題に対し、ITを活用した協働型問題解決支援サービスを提供します。(SIEM活用支援サービス、ITHelperサービス、Service Wall提供)
 - メディアサービス事業
Webやスマートフォンなどのインターネットメディアを利用した各種サービスの 企画、開発、運用支援
- 主要取引先(順不同)

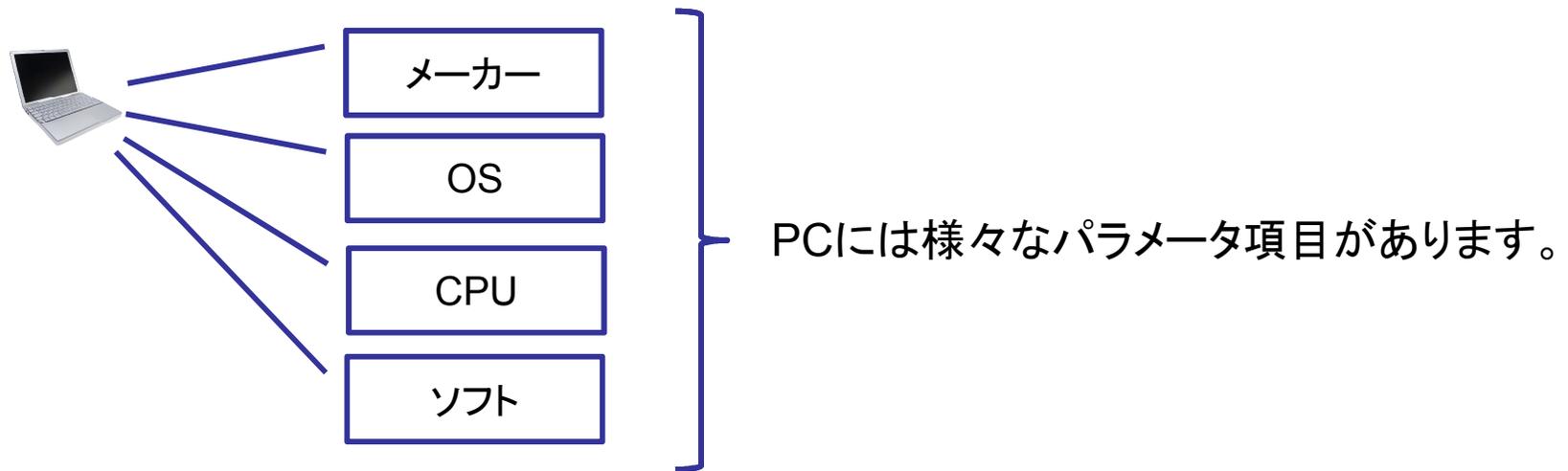
ArcSight, LLC(日本ヒューレット・パッカー株式会社)	株式会社シンカーミクセル
株式会社 デジターボ	株式会社ティーエヌエス
株式会社 ライトアップ	株式会社エス・エー・ティー
ビジョニング・パートナーズ株式会社	株式会社クリアコンサルティング
株式会社イーネットソリューションズ	株式会社ネットワークインフォメーションセンター
- 主要取引銀行
 - 三菱東京UFJ銀行 武蔵小杉支店
 - さわやか信用金庫 六本木支店



SERVICE WALL

とは「ITインベントリ収集サービス」です

ITインベントリとは、PCの目録のことです。



つまりService WallはPCの目録を収集し管理するサービスです。

なんで必要なの？

他にもあるんじゃない？

※2011年5月にサービスを開始しました。

PCの管理、運用に関わる顕在化した課題



監督責任

IT資産棚卸業務→社内のPCにどんなソフトが入っているのかな？

情報漏えい事故防止→ウィルス対策は行われているのか？

端末管理保守業務→HDDの空きはどうなっているのか？



現場の声

既存環境に**インストールする**のは影響が心配・・・

ユーザーに端末の**管理者権限を付与したくない**・・・

公開しているWebサービスに**どんな端末から接続されているか**心配・・・

展開からバージョンアップなど運用負荷が高まるのは避けたい・・・

初期導入コストをできるだけ抑えて実現したい・・・

これらの課題を解決するためのツールとして、開発しました。

このサービスの一番の特徴は「環境に依存しない」性能です。

- インストール不要(レジストリを汚さない)
- 管理者権限不要
- 家庭向けPC対応(Home Edition)

利用イメージ



ブラウザで1クリック



サーバーで一元管理

「Service Wall」は、以下の項目について収集を行います。収集はWMI(Windows Management Instrumentation)サービス等を利用します。

カテゴリ	インベントリ情報	詳細項目
システム	マシン情報	マシン名、モデル番号、メーカー名、BIOS名、シリアル番号
ハードウェア	OS情報	OS名、OSアーキテクチャ、バージョン、プロダクトキー、インストール日
	CPU情報	デバイスID、CPU名
	メモリ情報	デバイスID、サイズ
	HDD情報	ドライブ名、最大サイズ、フリーサイズ
	ネットワーク情報	MACアドレス、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
	ビデオ情報	画面解像度
ソフトウェア	ソフトウェア情報	アプリケーション名、メーカー名、バージョン、インストール日
	アンチウィルス情報	プロダクト名、メーカー名、バージョン、更新状態
	ブラウザ情報	ブラウザ名、バージョン
	プロセス情報	プロセス名、実体パス、起動開始日時

4-2. 機能紹介(レポート機能)

レポート名	タイプ	備考
収集状況レポート	円グラフ CSV	アカウント全体から未収集、期限切れ、正常の3つの状態を表示します。
OS種別レポート	円グラフ CSV	OSの種別、エディション、SP毎の集計結果を表示します。
マシン種別レポート	円グラフ CSV	メーカー、マシン種類毎の集計結果を表示します。
ハードウェアリソースレポート	CSV	解像度、MACアドレス、CPU性、メモリ容量、HDD残量の詳細リストを表示します。
アンチウイルス種別レポート	円グラフ CSV	アンチウイルス種別毎の集計結果を表示します。(未インストール割合も出力)
アンチウイルス更新状態レポート	円グラフ CSV	アンチウイルスの更新状態の集計結果を表示します。(未インストール割合も出力)
インストールソフトウェアレポート	円グラフ CSV	ソフトウェアベンダ毎の集計結果を表示します。 また、ソフトウェア毎の集計結果を表示します。
電源プラン設定状況	円グラフ CSV	収集された端末の電源プランの設定状況を収集します。
バッテリー劣化度	折れ線グラフ CSV	ノートPCのバッテリー劣化状況を収集します。

※レポート機能は管理者アカウントでログインする必要があります。

※グラフレポートはTOP10の集計を表示し、それ以外は「その他」として集計されます。

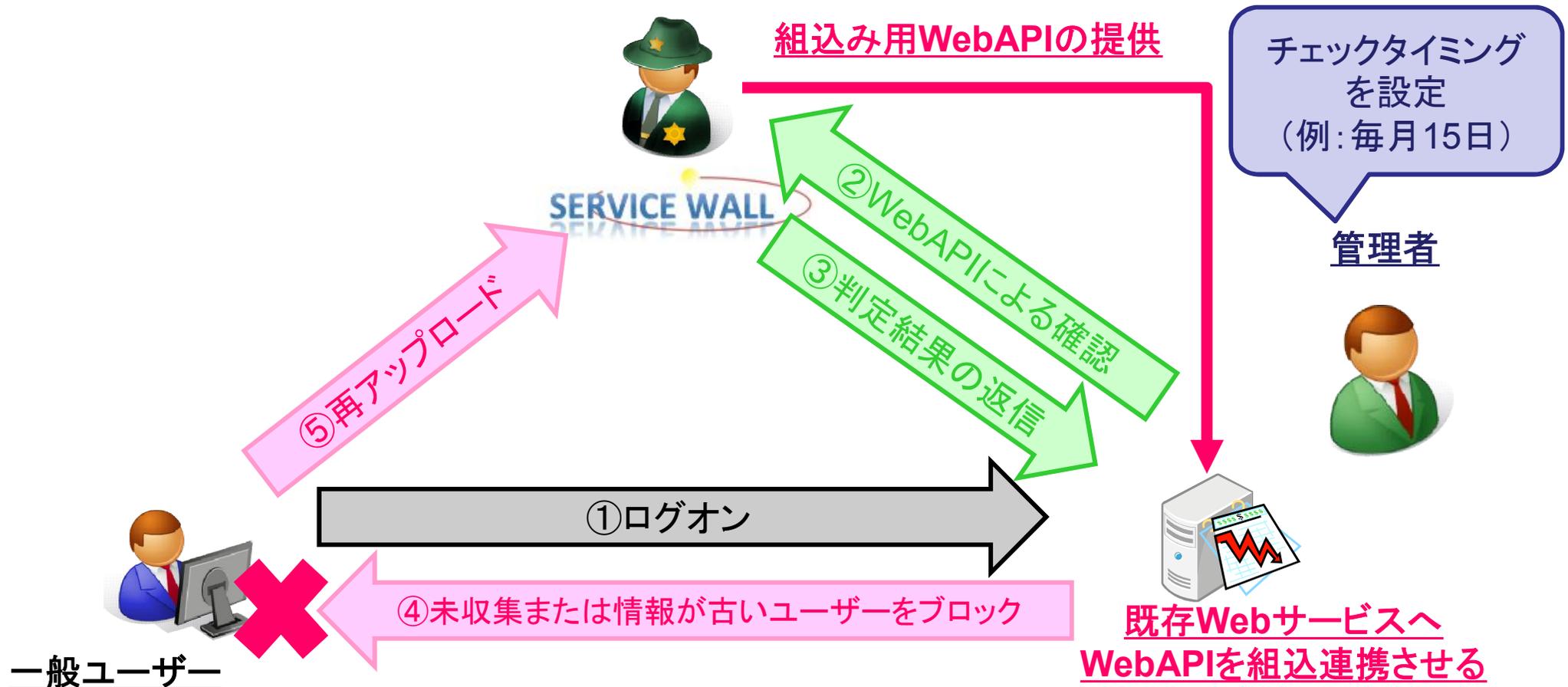
※CSVレポートはグラフレポートを作成するための未集計の詳細データです。

4-3. 機能紹介(チェックゲート機能)

ServiceWallは、収集したインベントリ情報を利用し、既存Webサービスログイン処理に対応した「**チェックゲート**」と呼ばれる組み込みAPIを提供しております。

利用シーンとしては、既存のWebサービスをより安全に利用するために、接続されるPCの状況を事前に把握した上でWebサービスを提供することができます。

例えばウイルス対策ソフトが入っていないPCのログインはブロックするなどの対応も可能です※



※ブロックするポリシーに関しては、要望に応じて別途カスタマイズにて対応させていただきます。

ActiveDirectoryとの連携機能

ServiceWallは基本的に利用者が任意で収集を行うサービスですが、利用者に意識させずに収集する方法もあります。ServiceWallのインベントリ収集モジュールは、画面を表示させずに収集を実行する「サイレントモード」を搭載しており、このサイレントモードとActiveDirectory環境などを利用して自動収集することが可能です。



ログオン/オフスクリプトが自動的にサーバー上のServiceWallをサイレントモードで起動し、インベントリを収集します。

リマインダーメール機能

一度もITインベントリ情報の収集をしていない未使用ユーザー、または更新期限を過ぎてしまっている期限切れユーザーに対して、通知メールを自動的に送信することができます。



未収集、または期限切れの利用者にメールでお知らせします。

自動通知により収集漏れの防止や管理者の負荷軽減に役立ちます。

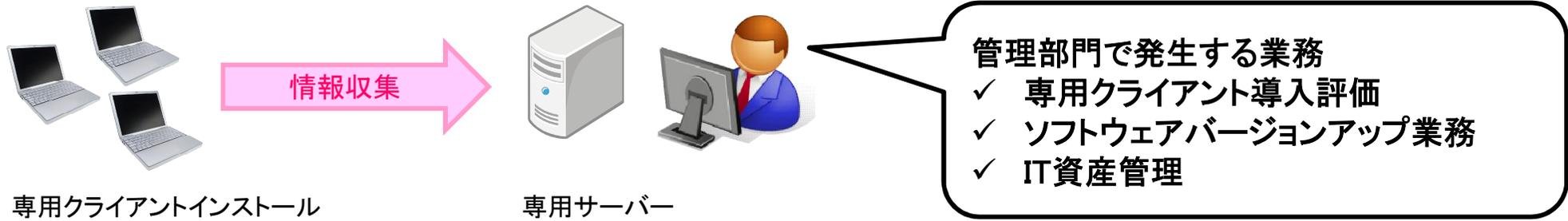
「Service Wall」では、各機能について以下の制限事項があります。

条件項目	詳細項目	備考
OS関連	推奨バージョン	Windows XP SP2以降を推奨致します。
	エディションの制約	基本的に全てのエディションにて利用可能です。
	アーキテクトの制約	32bit/64bitのどちらでも利用可能です。
アンチウイルスソフト	対象製品	WindowsOSが認識可能な情報のみを収集することが可能です。同一製品であってもバージョンによっては製品名の表記やメーカー名等の一部の収集データに差異が発生致します。
	パターンファイルの更新状態	パターンファイルのバージョン番号は取得することができません。WMI仕様に基き、OSが更新状態が古いと判断した場合に限り、認識することができます。
スキャン条件	必要なサービス	基本的な情報はWMI(Windows Management Instrumentation)サービスを利用して収集致します。そのため、WMIサービスが起動していることが必須となります。
	アカウント権限	OSにログオンしているユーザーアカウントを利用し、ITインベントリ情報へアクセス致します。基本的には一般ユーザー権限以上のアクセス権が必要となります。
	対象ブラウザ	ActiveXコンポーネントを利用したスキャンを行う場合は、Internet Explorer(32bit)をご利用ください。収集モジュールのダウンロードはどのブラウザからも行うことができます。Windows Vistaをご利用の場合は「信頼済みサイト」に「 https://www.servicewall.jp 」を追加するかモジュールを手動でダウンロードして頂き実行する必要があります。
	スキャン時間	通常は約1分未満、遅くとも3分程度で収集が完了致します。

6. 他社製品との違い(ツール型)

ツール型: パッケージの導入により実現するタイプ

専用サーバーと専用クライアントソフトを使い管理します。



- 情報と社会を結ぶ、これからのクライアント運用管理へ —
- SKYSEA**
Client View
スカイシー クライアント ビュー
- AssetView PLATINUM
- LanScope
Cat6
5500社480万クライアント
- QAW/QND Plus
3000社300万クライアント
- SS1、Malion
- コアITAMソリューション
1500社100万クライアント

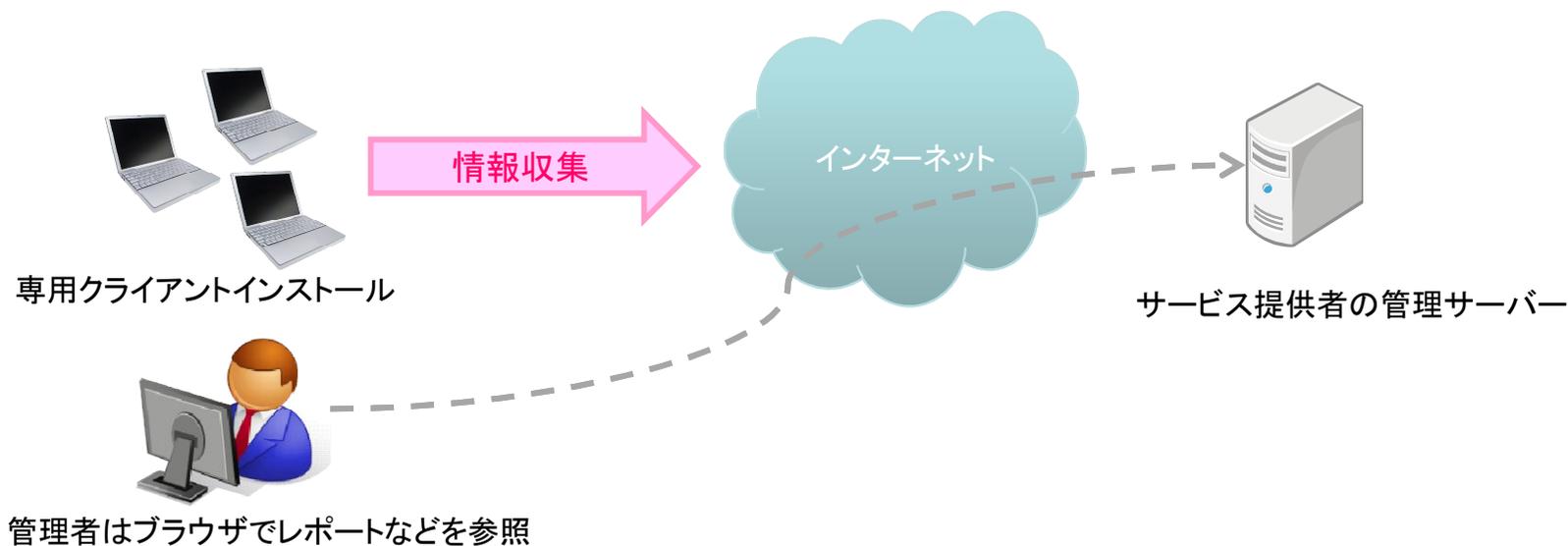
様々な商品が各社よりリリースされております。
 これらの商品は、クライアントの操作ログが取得できたり、
 リモートで接続してメンテナンスをしたり、データ暗号化の機能
 があったりと、多機能化が進んでおります。
 反面、導入時に**既存環境への影響**を評価する必要があります。
 また、OSのバージョンアップやアプリケーション (Office
 等) のバージョンアップなどに対応するため専用クライアント
 モジュールのアップデート対応が**運用上必要**になります。

SKYSEAはSky株式会社の登録商標または商標です。
 LanScope Cat、エムオーテックス株式会社の登録商標です。
 AssetViewは株式会社ハンモックの商品です。
 QAW/QND Plusはクオリティソフト株式会社の商品です。
 SS1は株式会社ディーオーエスの商品です。
 Malionは株式会社インターコム社の商品です。
 コアITAMソリューションは株式会社コアの商品です。

6. 他社製品との違い(サービス型)

サービス型: サービスの利用により実現するタイプ

専用クライアントソフトを使い、管理します。



LanScope CloudCAT

販売代理店 6社

ISAM CloudOne

パートナー企業13社
500円/台・月

eCare-OnDemand

5台～ 月3000円～

Windows Intune

1230円/台・月

専用サーバーが不要になり、ライセンス購入ではなくサービス利用型なので初期費用が低く抑えられるのが特徴です。機能面もパッケージ型とほぼ同じものが提供されています。**既存環境への影響**を評価する必要がある点はツール型と同様です。

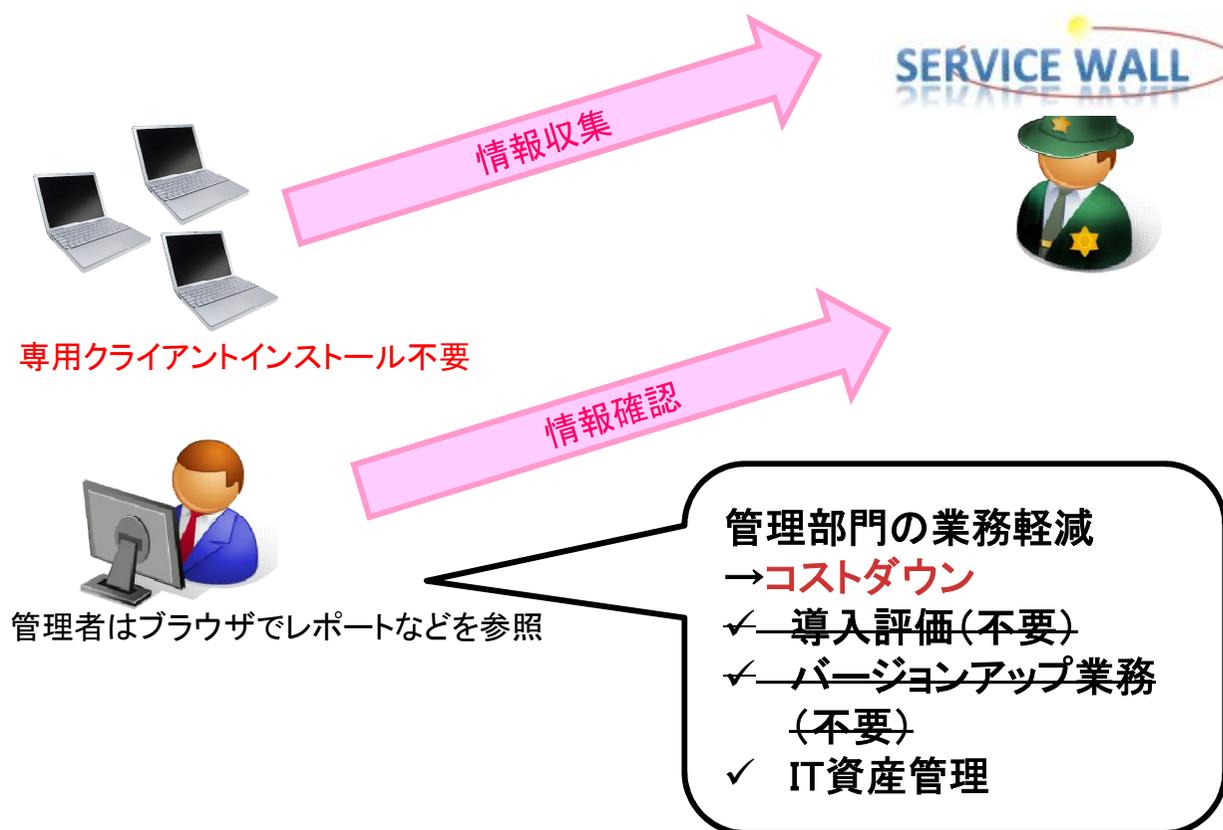
LanScope CloudCAT はエムオーテックス株式会社のサービスです。

ISAM CloudOne はクオリティソフト株式会社のサービスです。

eCare-OnDemandは株式会社ソリトンシステムズのサービスです。

ServiceWallの使い方はとてもシンプルです。

専用のサーバー機を用意する必要も、エージェントのインストールも、運用のための教育も必要ありません。簡単操作でユーザー環境に影響を与えず、必要最低限の機能だけをご提供致します。



7. パートナー様へのOEM事例

株式会社イーネットソリューションズ様

サービス名称:「OpenTrace」

URL: <http://www.opentrace.jp/>

パートナー様の主なメリット

- ・データセンター事業の活性化
- ・サービスメニューの拡大
- ・既存ユーザーとの関係深化
- ・既存パートナーへの展開



10/26～10/28に幕張メッセで行われた、
クラウドコンピューティングExpoで正式リリース

通常プラン

専用サーバー等の用意やシステム構築が不要な通常プランは、月額制サービスとなります。ITインベントリ情報を収集したいマシンの台数に対して、ご利用になられる月数分の使用料が発生致します。

(最低契約台数は10台、初回の最低契約期間は利用開始日から1年間です。)

例) 50台のお申し込み金額は年間234,000円となります。

(50台 × 月額利用料金390円 × 12ヶ月)

ご契約台数に対する価格設定は以下の通りです。

ご契約マシン台数	一台あたりのご利用価格
1～10台	490円
11～100台	390円
101～1000台	290円
1001～10000台	190円
10000台以上	90円

イントラネットプラン

「インターネット上へデータを保存しておくことが心配」、「そもそも社内ルールとして外部へ接続できない」等の場合は、社内システムとして安全にご利用頂けるイントラネットプランをご選択ください。価格は別途お問い合わせください。

(※ServiceWallシステムをインストールするサーバーが別途必要になります)

9. サービスアップデート情報入手先

URL : <http://servicewall.jp>

 @servicewall

 <http://goo.gl/nt6fN>

只今代理店・パートナー募集中です！

お問い合わせ

株式会社km2y

電話 : 050-5539-6745

メール : service@km2y.biz

担当 : 蜂巢まで

10. 補足(収集した情報の表示イメージ)

ハードウェア情報表示イメージ

CPU	
ID: CPU0	Intel(R) Pentium(R) 4 CPU 2.00GHz
メモリ	
ID: Physical Memory 0	256MB
ID: Physical Memory 1	512MB
ID: Physical Memory 2	MB
HDD (フリーサイズ / 最大サイズ)	
C:	82.12 GB / 102.54 GB
D:	102.14 GB / 102.54 GB
E:	91.48 GB / 93 GB
ネットワークアダプター	
MACアドレス 1	00: :85
IPアドレス 1	172.
サブネットマスク 1	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ 1	172.
ビデオ	
画面解像度	1280 x 1024

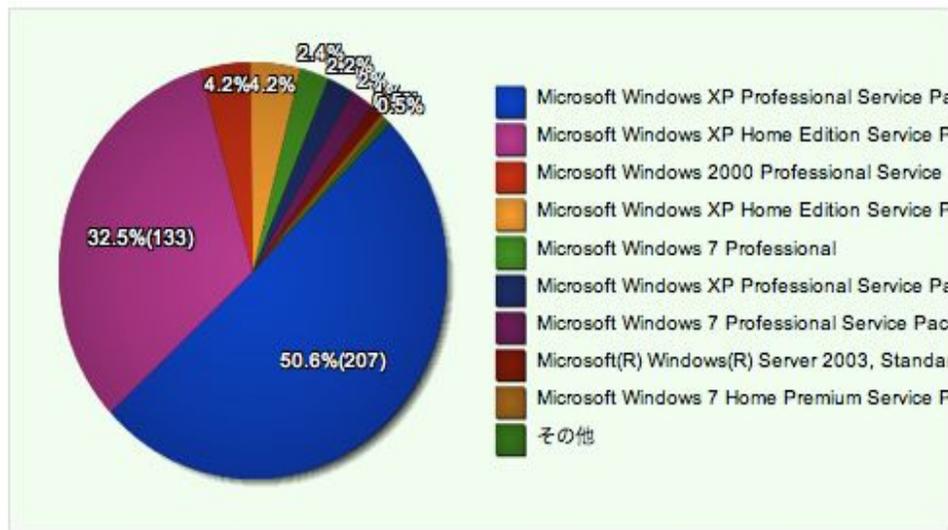
起動プロセス情報表示イメージ

プロセス名	起動開始日時
acrotray.exe	2011/09/23 7:12:36
alg.exe	2011/09/23 7:10:53
BttnServ.exe	2011/09/23 7:12:27
cisvc.exe	2011/09/23 7:10:35
CPQADM.exe	2011/09/23 7:12:14
CpqEAKSystemTray.exe	2011/09/23 7:12:13
csrss.exe	2011/09/23 7:10:25
ctfmon.exe	2011/09/23 7:12:31

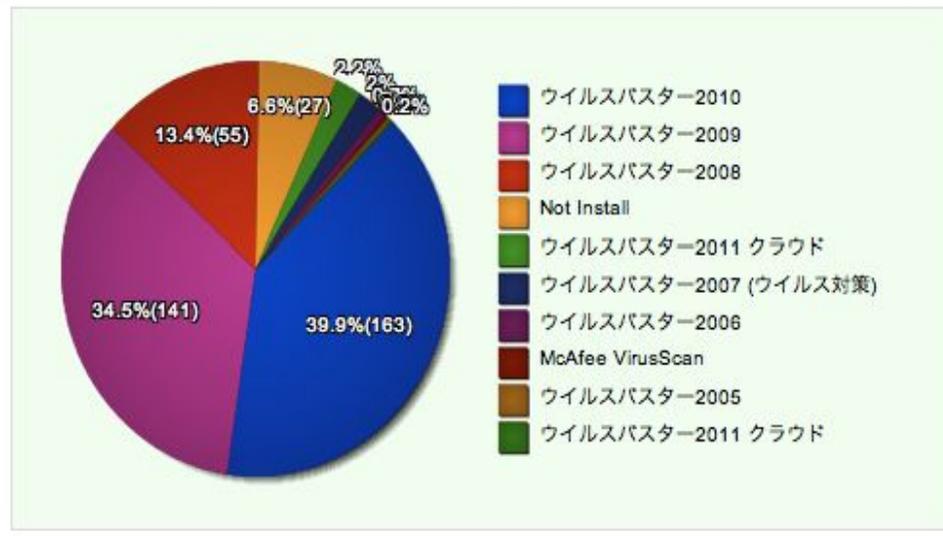
ソフトウェア情報表示イメージ

アプリケーション名	ベンダー名	バージョン	インストール日
+Lhaca			1753/01/01
Adobe Acrobat - Reader 6.0.2 Update	Adobe Systems	6.0.2	2009/07/23
Adobe Acrobat 6.0.1 Professional - Japanese	Adobe Systems	006.000.001	2009/07/23
Adobe Acrobat and Reader 6.0.3 Update	Adobe Systems	6.0.3	2009/07/23
Adobe Acrobat and Reader 6.0.4 Update	Adobe Systems	6.0.4	2009/07/23

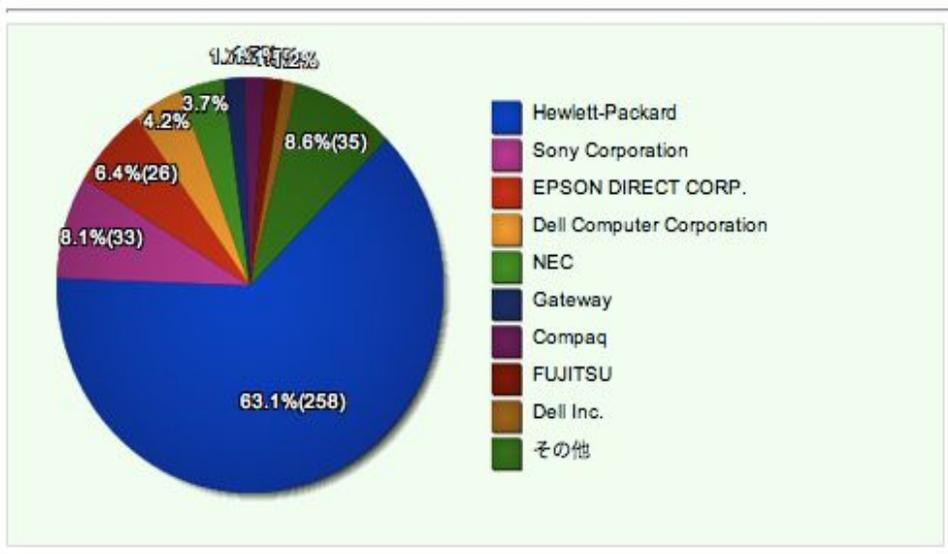
OS 種別レポート



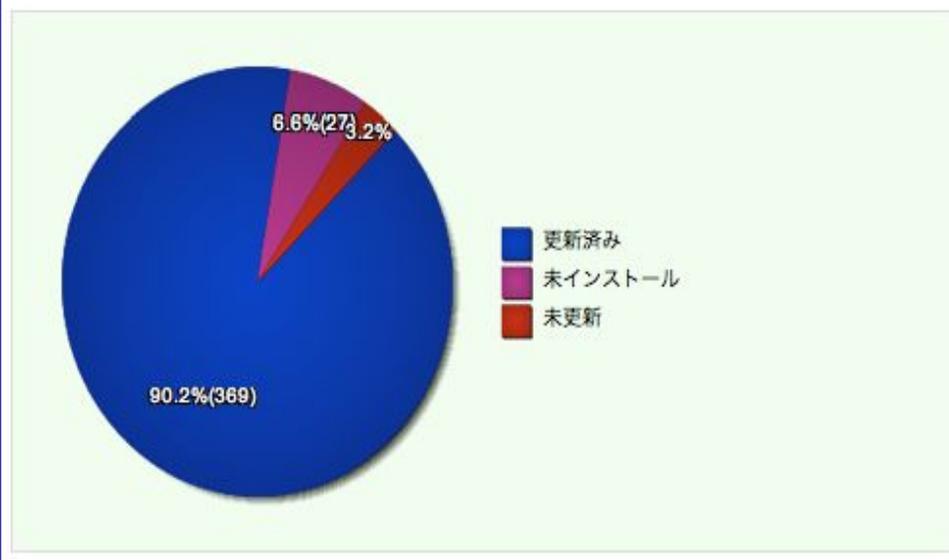
アンチウイルス種別レポート



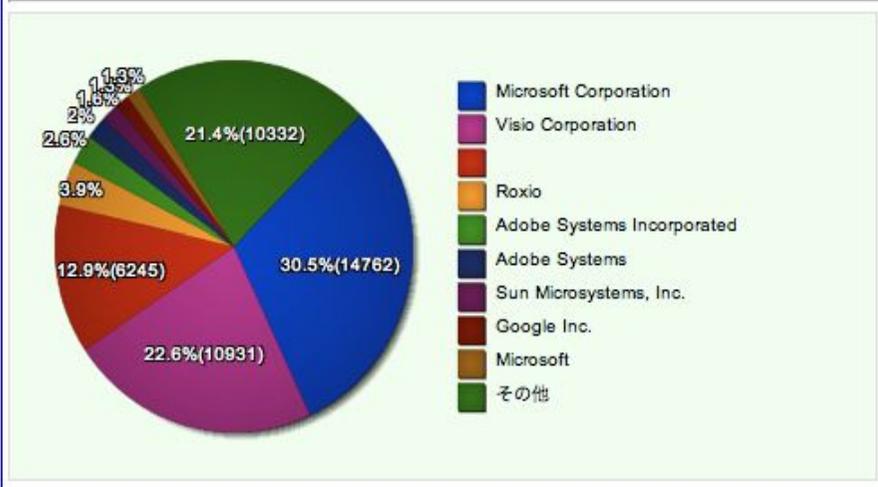
マシン種別レポート



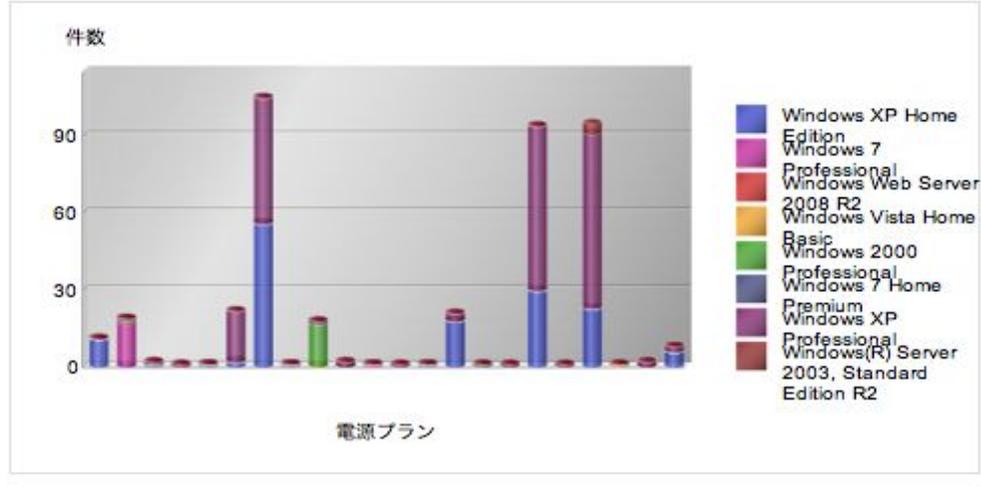
アンチウイルス更新状況レポート



インストールソフトウェアレポート



電源プラン設定状況レポート



バッテリー劣化度レポート

